

小規模企業景気動向調査

[平成24年1月期調査]

～業種内・地域間で差はあるが停滞傾向が続き、今後の見通しも暗い小規模企業景況～

2012年2月29日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2012年1月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体> ◇…停滞傾向が続き、今後の見通しも暗い小規模企業景況…◇

1月期の小規模企業景気動向調査では、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)は、前月から1.0pt改善して▲37.2となった。業況はすべての業種で3.0pt以内の小幅な変化であったが、建設業の採算の7.5pt改善や小売業の売上額の5.9ptの悪化など、個別項目では大きな動きがあり、業種内や地域の格差が広がっている。円高の影響が小規模企業にも波及し、消費税増税・社会保障費負担の増加・電気料金の値上げ等、企業の負担増の話題が連日報道されるなど、今後の見通しは暗い。

<製造業> ◇…大企業の業績悪化や工場撤退など、小規模企業への影響が懸念される製造業…◇

製造業DIは、▲30.6ptと前月と比べ2.5ptと小幅な改善となったものの個別項目はすべて悪化となった。自動車関連業種や特殊な技術を持っている企業は好調であるが、一方で、半導体や電子部品関連の製造業では、長引く円高やタイ洪水の影響で経営環境が急激に悪化したことにより、発注元から生産調整を迫られ、大幅に売上を落としている。また、大企業の工場撤退や生産の海外シフトにより、複数の地域から先行きへの不安を訴える声が寄せられた。

<建設業> ◇…住宅リフォーム・年度末の公共工事等、一部では活況な建設業…◇

建設業DIは、前月から2.7pt改善し▲36.7ptとなった。住宅関連では、エコポイントの復活の影響もあり、リフォーム工事は堅調であるが、新築は、大手のハウスメーカーとの競争にさらされている。土木関連では年度末に向けて、公共工事の発注があり、活況を呈している地域もあるが、全国的には公共工事は減少しており、転廃業に踏み切る事業者もでてきた。また、雪国では豪雪による除雪作業の受注が増えているが、受注により一息ついている部分と採算面や人員面で苦慮していると両方の声が寄せられた。

<小売業> ◇…業種により動向が分かれるが、依然として厳しい状態を強いられる小売業…◇

小売業のDIは、▲45.2ptと前月に比べ▲0.4ptとほぼ同水準であった。衣料品小売業では、先月から続く全国的な寒さのために消費者に冬物衣料や防寒用品を買い増す動きが見られたものの、寒さや雪のため、全体的に外出を避ける傾向にあり、また、消費マインドの低下・大型店との競争により、全般的に苦しい傾向が続いている。その中で、自動車販売業では、第4次補正予算成立によるエコカー補助金の復活を見越して、積極的な販売促進を行う事業所もあった。

<サービス業> ◇…消費者のマインドの低下により、停滞傾向が続くサービス業…◇

サービス業DIは、▲36.2ptと前月に比べ0.7ptの悪化であった。理美容業やクリーニング業では、顧客が寒さや降雪のために外出を控えるようになったことに加え、少しでも費用を節約しようと価格の安いチェーン店を選ぶようになったため、来客頻度が下がり、厳しい状況にある。一方、西日本を中心に旅行関係のサービス業では震災以降、自粛傾向に旅行やレジャーが活発となり、好調な地域もあった。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	12月	1月	前月比	12月	1月	前月比	12月	1月	前月比
売上額	▲32.6	▲33.8	▲1.2	▲22.8	▲26.4	▲3.6	▲27.9	▲23.8	4.1
採算	▲34.8	▲34.0	0.8	▲27.8	▲30.0	▲2.2	▲41.5	▲34.0	7.5
資金繰り	▲30.6	▲31.7	▲1.1	▲25.7	▲26.5	▲0.8	▲36.9	▲38.0	▲1.1
業況	▲38.2	▲37.2	1.0	▲33.1	▲30.6	2.5	▲39.4	▲36.7	2.7

業種	小売業			サービス業		
	12月	1月	前月比	12月	1月	前月比
売上額	▲42.9	▲42.6	0.3	▲36.7	▲42.6	▲5.9
採算	▲40.1	▲39.0	1.1	▲29.5	▲33.0	▲3.5
資金繰り	▲34.5	▲35.3	▲0.8	▲25.4	▲27.0	▲1.6
業況	▲44.8	▲45.2	▲0.4	▲35.5	▲36.2	▲0.7

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

全国商工会連合会 企業環境整備課